

未来の子どもたちに残したいまちへ

～まちごとエコタウン所沢構想～

実績報告



マチごとエコタウン所沢構想への思い

2011年3月11日 14時46分、宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmを震源とする東北地方太平洋沖地震が発生

直後に襲った大津波とこれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故

そのあり様を見て私たちは感じたのでした「自然への畏怖」と「社会システムの脆弱さ」を

そして考えたのでした「自分に何ができるのか」「人間にとっての幸せとは何だったのか」を

『幸せの物差し』を見つめ直す それが『マチエコ構想』の原点です

『幸せの物差し』 それは金銭やモノの豊かさだけで決まるものでもないでしょう。

互いに助け合い、誰かのために汗を流す

「人と人との絆」

自然への畏敬の念を忘れず、自ら寄り添う

「人と自然との絆」

これらの『絆』がちゃんとある社会。それが“幸せ”なのかもしれません。そんな新たな『幸せの物差し』を用意して、人々が生き生きと暮らすマチを実現したい。

それが『マチごとエコタウン所沢』に込めた思いです。



“あの時誰もが感じたあの思い”を覚えていますでしょうか？

東日本大震災やそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故による社会全体の大きな転換点を経験し、「自然への畏怖」と「社会システムの脆弱さ」を感じ、何かの犠牲の上に成り立つ便利さ、快適さを求める生き方への反省や、自分に何ができるのか、を多くの方が考えました。

本市では、限りあるエネルギー・資源に過度に依存してきたライフスタイルの転換や、「もったいないの心」に基づき、ものを大切に使うといった基本的な人の生き方に立ち返るとともに、地域の貴重で豊かなみどりを守り育て、「“人與人”、“人と自然”との絆」を大切にする「エコタウン」をみんなで築いていくため、平成26年3月に「マチごとエコタウン所沢構想」を策定し、「未来の子どもたち」のために、今、何をすべきかを考えながら、平成30年度までの5カ年、さまざまな取組みを進めてまいりました。

そして、令和元年度より「マチごとエコタウン所沢構想」は、環境基本計画と統合され、「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」として新たな目標に向かってスタートを切りました。

目指すべき将来像は「“人與人”、“人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢」です。また、同計画は、国連の提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」についても整理し、各施策が持つ多面性や世界共通目標を意識した取組みを推進していくこととしています。

“あの時の思い”を忘れず、未来の子どもたちに「善きふるさと所沢」を継承していくため、市民・事業者・市が一体となって持続可能な「マチごとエコタウン所沢」の実現に向けて、共に歩んでまいりましょう。

令和元年12月



所沢市長 藤本 正人

《目 次》

基本理念	1
基本方針	2
目標指標の結果について	3
所沢市マチごとエコタウン推進計画	4



スマートエネルギープロジェクト

メガソーラー所沢設置運営事業	6
フロートソーラー所沢設置運営事業	7
市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	8
電気自動車等充電インフラ整備事業	9
『実践！創エネ・省エネ』スマートエネルギー推進補助事業	10
埼玉エコタウンプロジェクト	11
地域密着型ローコスト太陽光発電等普及モデル事業（マチエコ応援隊）	12
電気自動車普及推進事業	13
廃棄物発電電力による収集運搬低炭素化事業	14
地域新電力事業	15
国際都市間協カプロジェクト	17
世界首長誓約／日本	18
所沢版R E 1 0 0	18
はじめよう ECO 生活 エコファミリー認定事業	19
動画コンテストによる啓発事業	20
キャンドルナイト（ライトダウンイベント）	21
環境学習支援事業（地球にやさしい学校大賞）	22
わたしたちの環境	23
出前講座等の教育プログラム	23

マチエコ大使事業	24
マチごとエコタウン推進基金活用事業	25
西部クリーンセンター太陽光発電・蓄電池設備設置事業	26



グリーンアッププロジェクト

里山保全地域推進事業	28
保存樹木指定促進事業	29
みどりのパートナー活動推進事業	30
所沢市みどりのふれあいウォーク	31
みどりのカーテンコンテスト	32
緑地管理整備推進事業	33
グリーンカーペット促進事業	34
まちなかみどり保全地区	34
みどりの基本計画策定事業	35
所沢カルチャーパーク	36



もったいないプロジェクト

プラスチックごみ削減の取組み	38
都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	39
生ごみ減量化・資源化推進事業	40
食品ロスゼロのまち促進事業	41
集団資源回収報償金交付事業	42
所沢市ごみ分別アプリ「わけトコっ！」	43
エコロまつり	43

用語解説	44
------	----

《基本理念》

“人と人”、“人と自然”との絆で、未来と子どもを育む 所沢

「基本理念」のフレーズに込められた想い

人と人

東日本大震災の経験の中から、私たちはお互いを思いやり、助け合い、励まし合い、それによって、生きていくことができる「絆」を実感しました。所沢市に住み、集う“人と人”が、この絆を大切に、一体となって紡いでいきます。

人と自然

カブトムシやクワガタ等がいる森、ミヤコタナゴやホタル等が自生できるせせらぎを守り、“人と自然”との関係を紡ぎ直し、自然と共生した地域社会を創っていきます。

未来と子どもを育む

私たち一人ひとりがこれまでの生活を見直し、少々不便であっても、自然と共生できるみどり豊かなマチと心豊かな暮らしを、未来の子どもたちに自信と誇りをもって引き継いでいきます。

《望ましいエコタウン像》

人と人との絆や、エネルギー・資源の大切さ、何よりも、人は自然の中で、共に暮らし、生きていることを感じられるマチ、ホタルやカブトムシ、ミヤコタナゴ等がいる里山で、子どもたちが育まれるマチ、このような人と自然が調和した「未来の子どもたちに残したいマチ」を真のエコタウンとして目指します。



《構想の基本的事項》

構想の趣旨

本構想は、限りあるエネルギー・資源に過度に依存してきたライフスタイルを転換し、「もったいないの心」に基づき、ものを大切に使うといった基本的な人の生き方に立ち返るとともに、地域の貴重で豊かなみどりを守り育て、「人と人、人と自然との絆」を大切にする「エコタウン」を、みんなで築いていくための道しるべとするものです。

構想の位置づけ

本構想は、東日本大震災後の社会経済情勢の変化を踏まえつつ、これまでの計画を補完し、その目指すべき姿を実現するために、全市的・横断的・先導的に取り組むべき事項に焦点を絞って、その取組みを深化、加速、具体化させていくためのものです。

構想の対象期間

構想の対象期間は、「第5次所沢市総合計画」の残りの期間を踏まえ、平成26年度から30年度までの5カ年とします。ただし、エコタウンの実現には時間のかかる取組みも多くあるため、施策の優先度や実現可能性に基づき、おおむね10年後を見据えた将来像を描いています。

《基本方針》

基本方針1

エネルギー資源を大切に、再生可能エネルギーを導入します。

基本方針2

人とみどりの関係を紡ぎ直し、みどりの保全・創出に取り組めます。

基本方針3

「もったいないの心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組めます。

リーディングプロジェクト（優先的に実施する象徴的な取組み）を位置づけ

スマート
エネルギー
プロジェクト

重点事業
①～⑥

グリーンアップ
プロジェクト

重点事業
①～⑤

もったいない
プロジェクト

重点事業
①～⑤

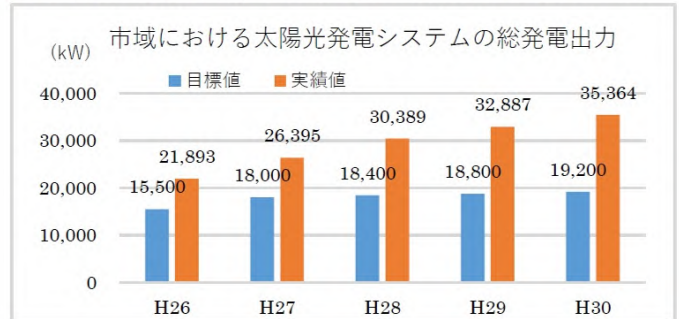
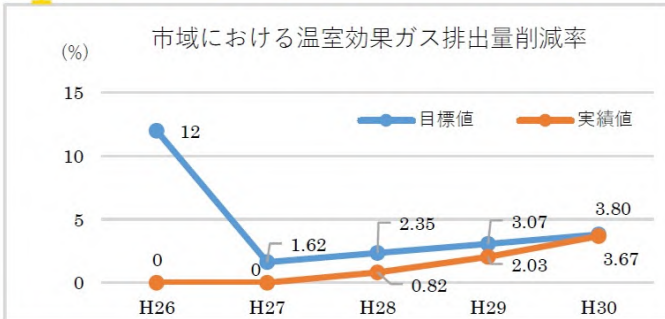
マチごとエコタウンの実現

「マチごとエコタウン所沢構想」の対象期間5カ年を終えて・・・

「マチごとエコタウン所沢」を実現するため、エネルギー・みどり・資源循環のリーディングプロジェクトに掲げた総合的な目標や各重点事業に掲げた個別目標を達成すべく、各種事業を推進してきました。各プロジェクトにおける目標指標の結果は以下のとおりとなりました。

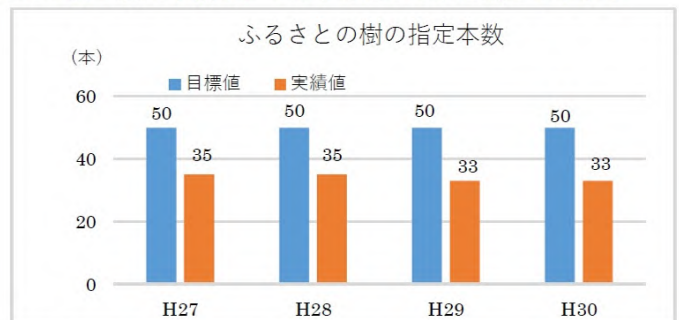
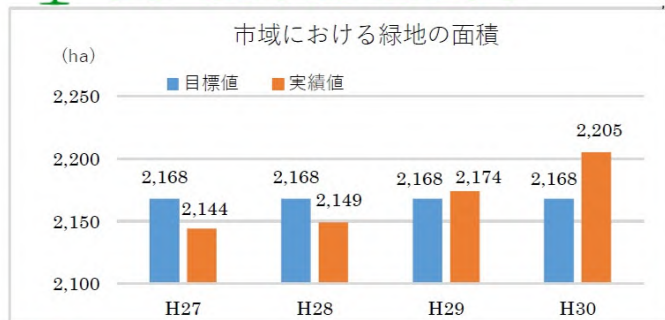
 **スマートエネルギープロジェクト**

市域の太陽光の総発電出力は、目標を大きく上回るも、温室効果ガス排出量削減率は、5カ年を通して未達成となりました。



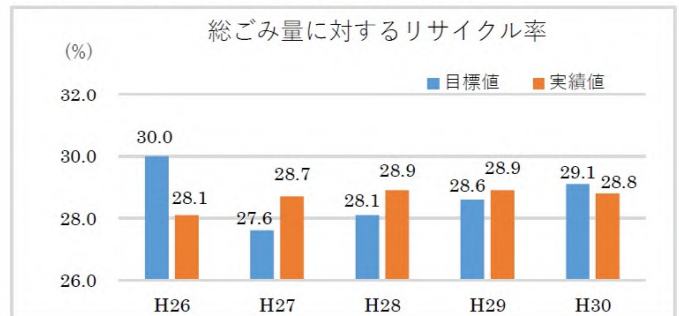
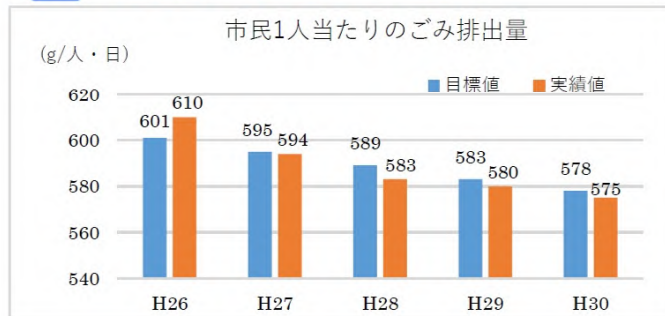
 **グリーンアッププロジェクト**

市域の緑地面積は、29年度から目標を達成できましたが、ふるさとの樹の指定本数は、4カ年を通して未達成となりました。



 **もったいないプロジェクト**

排出量は、目標を達成し、リサイクル率は、最終目標が未達成ですが、一定の値を保つことができました。



「全国市区サステナブル度・SDGs 先進度調査」
所沢市が環境部門 1位に輝きました



「日経グローバル（日本経済新聞社：平成31年1月7日発行）」において、全国815市区を対象に実施された調査で、経済・社会・環境の3側面から各指標を得点化し、ランキング。創エネ・省エネ機器等の市民・事業者への幅広く手厚い補助等が評価され、環境部門の1位を獲得しました。



全国 1位

2位：京都市 3位：川崎市



全国 47位

県内 3位

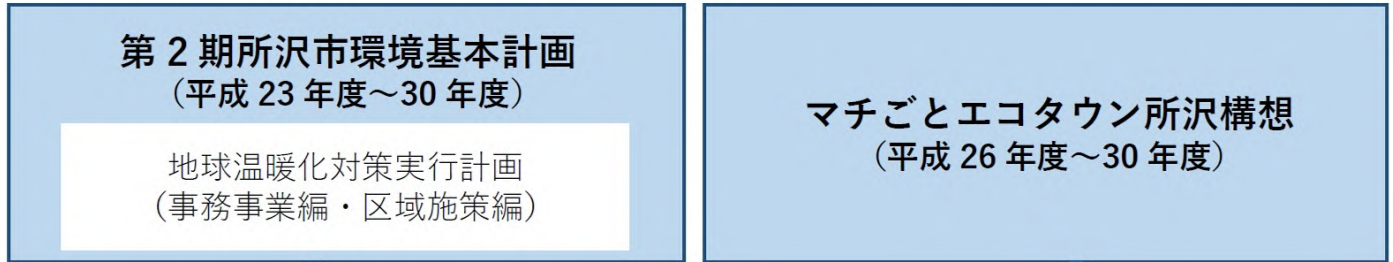
1位：さいたま市 2位：戸田市



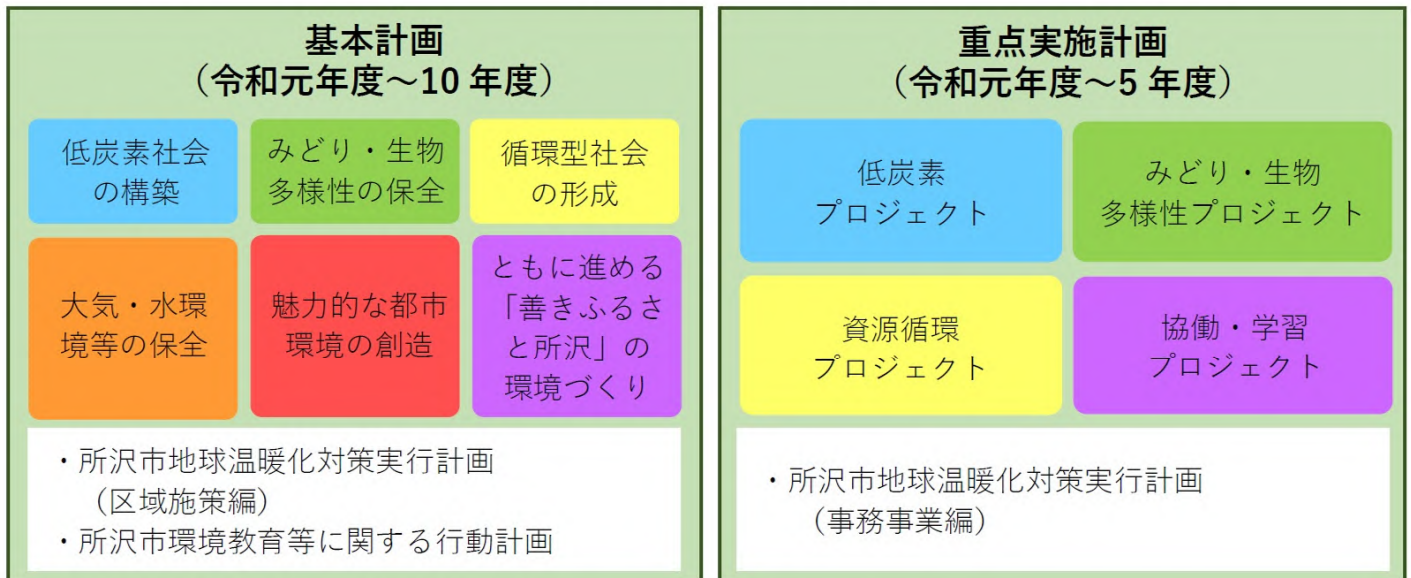
所沢市マチごとエコタウン推進計画

(第3期所沢市環境基本計画) を平成31年3月に策定

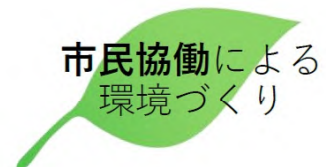
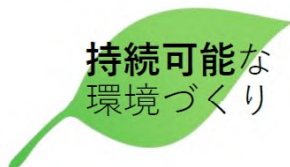
「マチごとエコタウン所沢構想」の趣旨・理念等と、所沢市環境基本条例第9条第1項に基づく、環境保全に関する総合的な計画「環境基本計画」を統合した計画です。本計画は、「人と人」、「人と自然」との絆を大切にする「エコタウン」を築いていくという方針を明確にしている点、国際的な協働により取り組んでいくSDGsの考え方を取り入れ、施策との関係を示している点が特徴となっています。



所沢市マチごとエコタウン推進計画 (第3期所沢市環境基本計画)



《基本理念》



《将来像》

“人と人”、“人と自然”との絆で、
子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢

